

Japanese Course for Graduates (Shizuoka Campus) (Annual Report(2nd semester, 2019-1st semester, 2020) I Japanese Language Education)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2021-04-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 熊井, 浩子, 袴田, 麻里 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00028195

年次報告（令和元年度後期・令和2年度前期）

I 日本語・日本事情教育

日本語研修コース（初級）・日本語補講

熊井 浩子／袴田 麻里

1. コースの概要

令和元年度後期（第37期）は、正規の研修生として教員研修留学生1名、非正規生としてABP修士1名の計2名が初級クラスを受講した。初めて日本語を勉強するABP修士は通常週4コマの日本語教育プログラムを受講するが、28年度以降後期に4期続けて、計5人の受講となった。ABP修士は英語プログラムではあるが、日本語でのコミュニケーション力を身につけることは研究室での活動や日常生活において大きな助けとなるほか、日本での就職の際にも大いに役に立つ。今後もより多くの学生が研究室活動との両立を図りつつ、研修コースを受講できるよう、専攻科や指導教員にその意義を伝えていく必要があるだろう。なお、この期のAPB学生は文字が既習であったため、関連の授業は読解等、教員生とは別メニューで対応した。その後は全く問題なく進行し、正規研修生には修了証が授与され、ABP学生には全学教育科目として15単位が認定された。また、「日本語と文化」については、研修コース受講生以外に7名の交換留学生在が受講した。

令和2年度前期は新規交換留學生1名の受講が予定されていたが、新型コロナウイルスによる辞退のため受講者ゼロとなり、15コマのうちの5コマを「日本語と文化」及び日本語研修コース（中級）科目として静岡で開講したほか、残りの10コマのうち、3コマを静岡キャンパス、3コマを浜松キャンパスで補講授業として開講した。いずれも新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言発令による措置として授業開始が3週間延期されるとともに、当初は全てオンラインで実施、5月25日の宣言解除を受けて6月8日以降は一部対面授業として実施された。日本語研修コースは正規生及び特別聴講学生には全学教育科目として単位が、それ以外の学生及び補講授業の受講者には受講証がそれぞれ授与された。

2. 授業期間

日本語研修コース（第37期）	令和元年10月1日～令和2年2月3日	15週
日本語研修コース・日本語補講	令和2年4月9日～令和2年7月22日	14週（予定）
	→令和2年4月30日～令和2年7月14日	14週（実施）

3. 令和元年度後期 日本語研修コース（第37期）

3. 1. 受講者

クラス	受講者	国	所属・在籍身分
日本語1	1*	マラウイ	教育学研究科（教員研修留学生）
	2	インドネシア	総合科学技術大学院農学専攻（ABP 修士）

*：正規研修生

3. 2. 時間割

日本語1

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2時限 8:40～10:10	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語
3・4時限 10:20～11:50	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語	基礎日本語
5・6時限 12:45～14:15	漢字	作文	聴解	日本の生活	会話

3. 3. 授業内容

日本語Ⅰ（入門）

目標：日本語の基礎的な構造・表記を学び、日常生活における基本的なコミュニケーション力を身に付ける。

基礎日本語 10コマ/週

目的：日本語の基本的な構造・表記を理解し、日常的なコミュニケーションの基礎を身につける。

内容：初級文型の総合的なコミュニケーション練習

使用教材：『みんなの日本語 本冊』初級Ⅰ・Ⅱ（スリーエーネットワーク）

『みんなの日本語 翻訳・文法解説 英語版』初級Ⅰ・Ⅱ（同上）

『日本語かな入門 英語版』（国際交流基金）

会話 1コマ/週

目的：既習項目を使って、日常生活のさまざまな場面で、いろいろな活動・コミュニケーションができるようになる。その活動をとおして、異文化の考え方・習慣を学ぶ。

内容：基礎日本語の既習事項の運用練習。

使用教材：『みんなの日本語 初級Ⅰ・Ⅱ』本冊・DVD

聴 解 1コマ／週

目 的：日本語の音声から必要な情報を得られるようになる。
日常生活において基本的なコミュニケーションができるようになる。

内 容：CD・テープなどによる聞き取り練習。

使用教材：『聴解タスク25』初級Ⅰ・Ⅱ（スリーエーネットワーク）
『楽しく聞こう』（文化外国語専門学校）等適宜

作 文 1コマ／週

目 的：既習の語彙や文型を文章の中で適切に使えるようにする。さまざまなテーマで作文を書くことによって、語彙・表現を増やす。

内 容：全体的な構成を意識しながら、日常的なトピックについて作文を書く・文集作成

使用教材：『やさしい作文』（スリーエーネットワーク）

漢 字 1コマ／週

目 的：日常生活・勉学生活に必要な基本的漢字の読み書きを身につける。
日本語研修コース修了後も自分で学習を継続できるような漢字学習法を学ぶ。

内 容：初級前半の漢字の読み・書き、読解

使用教材：『みんなの日本語 漢字 英語版』Vol.1（スリーエーネットワーク）

『Basic Kanji Book』VOL. 1（凡人社）

『みんなの日本語 初級で読めるトピック25』（スリーエーネットワーク）

日本語と文化 1コマ／週

目 的：主に新規来日の学生を対象とする。スムーズに日本の生活に適応するため、基礎的な日本文化・社会に対する理解を深める。

内 容：日本の文化・習慣など、日常生活で最低限必要なこと。見学などを随時行なう。

使用言語は英語。

使用教材：適宜

4. 令和2年度前期 日本語補講・日本語研修コース

4. 1. 受講者

キャンパス	クラス	受講者数
静岡	日本語補講1	2
	日本語補講2-1	4
	日本語補講2-2	2
	日本語中級Ⅰ*	9
	日本語中級Ⅱ*	1
	日本語中級Ⅲ*	11
	日本語中級Ⅳ*	12
日本語と文化*	3	
浜松	日本語補講2	18
	日本語補講3 (2コマ)	11

* 日本語研修コース科目

4. 2. 時間割

日本語補講・日本語研修コース

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1・2時限 8:40～10:10		日本語補講1 (漢字)		日本語中級Ⅰ (漢字)	日本語中級Ⅱ (PW)
3・4時限 10:20～11:50		日本語補講2-1 (漢字)			日本語補講2-2 (日本語総合)
5・6時限 12:45～14:15		日本語補講2* (発表)	日本語中級Ⅳ (日本語総合)	日本語と文化 (日本の生活)	日本語中級Ⅲ (N2対策) 日本語補講3* (漢字)
7・8時限 14:25～15:55			日本語補講3* (JLPT対策)		

* : 浜松キャンパス

4. 3. 授業内容

日本語補講・日本語研修コース

目標：それぞれのレベルの日本語教育プログラムで学んだことをさらに発展させ、それぞれの技能を伸ばす。

●静岡キャンパス

【日本語補講】

日本語補講 1 (漢字) 1コマ/週

目的：ひらがな・カタカナが書けるようになる。
日常生活・勉学生活に必要な基本的漢字の読みを身につける。
内容：ひらがな・カタカナの習得と漢字の読み
使用教材：Japanese-Lesson.com: Learn Japanese Online for Free!
<http://japanese-lesson.com/>

日本語補講 2-1 (漢字) 1コマ/週

●グループ1

目的：日常生活・勉学生活に必要な基本的漢字の読みを身につける。
内容：漢字の書きと読み
使用教材：Japanese-Lesson.com: Learn Japanese Online for Free!
<http://japanese-lesson.com/>
『みんなの日本語II 漢字 英語版』(スリーエーネットワーク)

●グループ2

目的：日常生活・勉学生活に必要な漢字の読みを身につける。
内容：漢字の書きと読み
使用教材：みんなの日本語初級 漢字

日本語補講 2-2 (漢字) 1コマ/週

目的：「まるごと」で扱う文法項目の復習と定着を図る。
内容：「まるごと」の学習文法項目の復習、応用練習
使用教材：プリントを適宜配布

【日本語研修コース】

日本語中級 I (漢字) 日本語3レベル 1コマ/週

目的：中級レベルの漢字を身につける。
漢字語彙の学習。
内容：中級レベルの漢字と漢字語彙の学習
使用教材：『Intermediate Kanji Book』VOL1 (凡人社) など

日本語中級 II (PW) 日本語3レベル 1コマ/週

目的：教室内外での活動を通して、総合的なコミュニケーション能力を身につける。
内容：インターネット上のサイトやアプリを利用したプレゼンテーション、意識調査やインタビューを基にした発表・レポート作成などのプロジェクトワーク実施。
使用教材：プリントを適宜配布

日本語中級Ⅲ (N2対策) 日本語4レベル 1コマ/週

目的：語彙や文法項目の学習を通してJLPT N2レベルの日本語力を身につける。

内容：N2対策

使用教材：『TRYトライ！日本語能力試験N2』（アスク出版）

日本語中級Ⅳ (日本語総合) 日本語4・5レベル 1コマ/週

目的：かなり高度な読解力を身につけ、JLPT・N1合格を目指す。

内容：N1レベルの教材を用い、各自の弱点を補いつつ、さらに上級の日本語を身につける。

使用教材：『新完全マスター読解N1』（スリーエーネットワーク）他

日本語と文化 日本語3～5レベル 1コマ/週

目的：日本文化の造詣を深めるために、日本社会に関わる様々な情報を得る。また、興味のある日本文化について、自分で調べ、クラスで発表する。

内容：(1)日本文化の様々な面について知識を深める。
(2)学習者の文化と比較しながら日本文化を考える。
(3)クラス発表により、自分の興味ある文化について調べる。
(4)この授業はオンラインで実施された。使用言語は日本語。

使用教材：なし。

●浜松キャンパス

日本語2 1コマ/週

目的：日本語で簡潔にまとめ話す力をつける。

内容：日本語で発表するための技能

使用教材：適宜

日本語3 2コマ/週

目的：(1)日常生活に必要なレベル（N4、N3）の語彙、漢字を習得する。
習った知識を使って、文章を読めるようにする。

(2)JLPT受験に向け、既習項目を強化する

内容：(1)初級から中級にかけての漢字と漢字語彙の学習
漢字仮名交じり文の読解

(2)N4、N3の教材を用い、各自の弱点を補う。

使用教材：(1)『漢字たまご 初中級』（凡人社）

(2)『TRY! N4 文法から伸ばす日本語』（アスク出版）